

## <事業所全体による自己評価> R5.1.14実施

### happiness

項目	選択した理由	現状分析	解決目標	解決方法	期限	経過
環境・体制整備 活動等のスペースを確保してほしい(1)	・利用児が多い時はゆっくり横になるスペースが足りない ・個別訓練の部屋がほしい	・個別活動では、ウサギ・カンガルーで行っており、個別ができるスペースは確保しているが、グループ活動ではライオン・サルで実施。実際に人数が多いことで狭さを感じる場面がある。また、職員の配置上、目が行き届かない為、ライオン・サルで療育を行っている現状。 ・バギーを置くスペースで場所が取られてしまう。 ・児が横になれるスペース(フロアクッション)を取っており、場所を取ってしまう。 ・前年度から部屋の配置を大きく変え、見え化を図った環境を設定した。	・モノや間仕切りの位置を変更していく。	・空間を広げるよう、検討していく。 ・他部署の状況を確認し、2階のスペースを使えるかどうか情報収集を行い、対応する。	令和5年	物の位置の変更等を行い、空間を広げるように工夫した。今後はうさぎの部屋を有効活用できるように、配置の検討を行っていく。
適切な支援の提供 活動のプログラムについて(5)	・食育、トイレ、言語指導をお願いしたいとのご意見があったため	・グループ活動では保育士・児童指導員会議を行うことで、活動を検討し、固定化しないように工夫している。 ・活動では取り組んでいるものの、フィードバックで十分にお伝えすることができていない。 ・ADL面での家庭や学校での詳しい活動内容の情報が把握できていない。	・ADL面での向上のための活動・方法を充実させる。 ・中高生への活動(販売など)を取り入れていく。	・ADL面：支援の方法の統一を図る必要がある。チーム会議で話し合ったことの情報共有を十分に行っていく。 フィードバックでの情報伝達とプラスして、インスタを活用し、活動内容を伝達していく。 ・年度末・始めの面談やモニタリングなどでADL面を聞き取り、情報収集する。事前にチェック項目の様式を作成し、誰でも把握できるようにしていく。 ・中高生の活動を充実させ、将来的な視野を持ち、長期期間取り組む活動など検討していく。 ・生活介護や将来的なことを考えて、生活介護で取り組む作業や事業所の見学なども行っていきたい。情報収集も行う。	令和5年	ST介入やトイレ指導など行えた。また、様々な活動を行い、インスタグラムや連絡帳で様子など情報伝達を行い、アンケート結果100%となった。中高生活動に関しては、後期より少しずつ取り組んでいる。
非常時等の対応 (15)・(16)	・周知が十分に行えていない為 ・避難訓練ができていない為	・備蓄品は重要事項記載説明書に提示しているが、保護者に十分に伝わっていない。 ・避難訓練ができていない。 ・非常時の動き方をシミュレーションをする機会が少ない。部署で話し合う時間も確保できていない。	・保護者への周知を行う。 ・訓練の充実を図る。	・備蓄品などをインスタを活用し発信していく。 ・長時間を利用し、避難訓練を行う。 ・災害対策委員で検討している名刺カードをお渡しする。 ・イベント等の際、保護者を交えた避難訓練の実施を検討したい。 ・避難経路を把握する。ウサギの部屋から出る可可能線もある為、駐車場の確保。 ・火災や災害につながる可能性がある場所・場面のチェックを行う。 ・指示系統に準ずる必要があるのか？ ・療育室に災害の役割を掲示する。	令和5年	防災訓練を実施し、連絡帳やインスタやフィードバック時に情報周知を行ったが、アンケートよりも後であったため、周知が行き届かなかった。そのため、来年度はアンケートの前にインスタ等で災害かばんの紹介や実施状況を周知していく。